



# 小野竹喬の世界

笠岡市立竹喬美術館名品展  
うつりゆく  
自然を描く

*The World of*  
**ONO, Chikkyo**  
会期 2026/9.5<sup>土</sup>—10.12<sup>月祝</sup>  
※展示替えあり

前期 9月5日<sup>土</sup>～9月23日<sup>水・祝</sup> 後期 9月25日<sup>金</sup>～10月12日<sup>月・祝</sup>

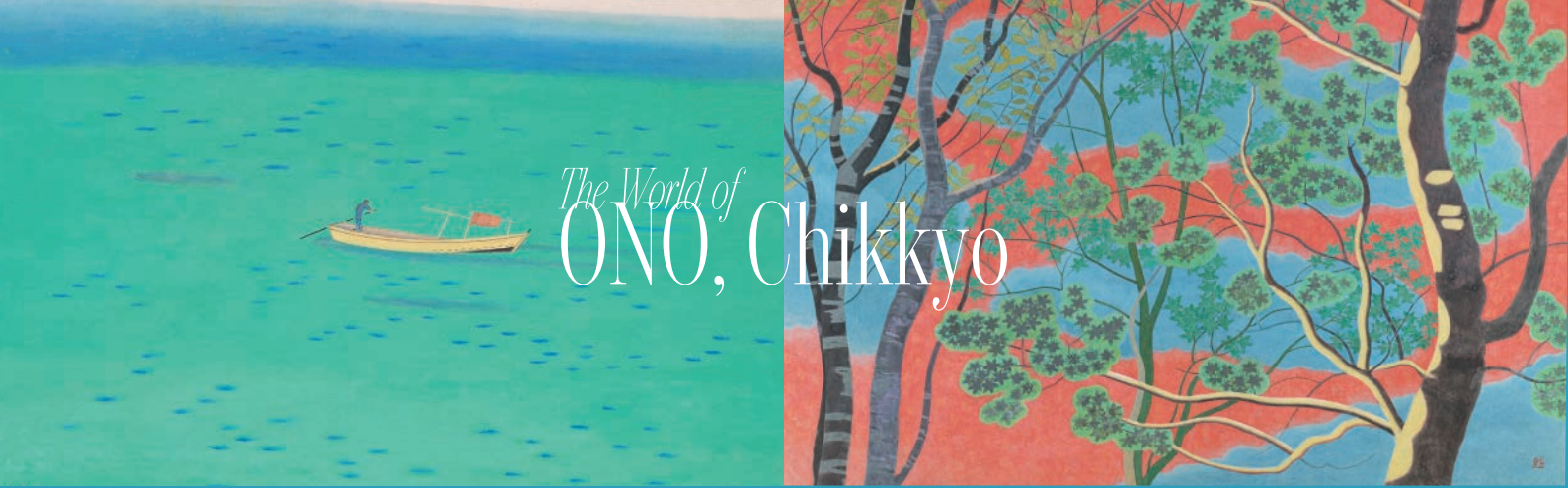
開館時間 ◎ 午前9時30分から午後5時まで（入館は午後4時30分まで）  
休館日 ◎ 毎週月曜日（ただし9月21日<sup>月</sup>・<sup>祝</sup>および10月12日<sup>月</sup>・<sup>祝</sup>は開館、9月24日<sup>水</sup>休館）  
観覧料 ◎ 一般：1,200（960）円／高校・大学生、65歳以上：900（720）円  
※（ ）内は20名以上の団体料金、中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方は無料  
主催◎郡山市立美術館／特別協力◎笠岡市立竹喬美術館／企画協力◎青幻舎プロモーション

**郡山市立美術館**  
Koriyama City Museum of Art

〒963-0666 福島県郡山市安原町字大谷地130-2  
Tel.024-956-2200 Fax.024-956-2350  
<https://www.city.koriyama.lg.jp/site/artmuseum/>

バス：郡山駅前バス5番のりば「美術館経由東部ニュータウン」行き、または「斎藤経由三幸」行き「郡山市美術館」下車すぐ 乗用車：磐越道「郡山東IC」より約20分（駐車場130台）

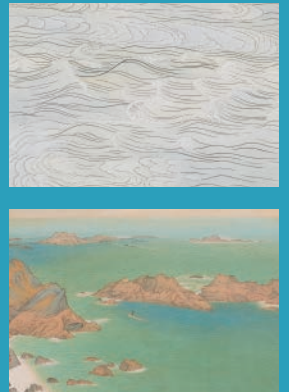
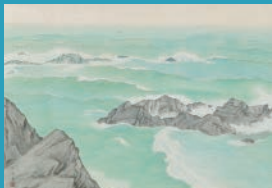
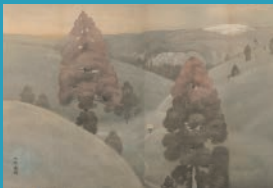




# The World of ONO, Chikkyo



小野竹喬(1889-1979)は、岡山県笠岡市出身の日本画家です。1903年(明治36)に14歳で京都の竹内栖鳳に入門してから、1979年(昭和54)に89歳で亡くなるまでの75年間、日本の自然を描き続けました。さまざまな表現に挑戦しながらも、制作姿勢は一貫して季節の移ろいの中にある自然のささやかな表情を捉え続けました。とくに、晩冬から早春にかけての大地の装いや樹木の芽吹き、その萌しを、竹喬は「自然の香り」と称して、清澄に捉えています。また、戦後は夕焼けの空を題材として、時々刻々と変化する空や雲の様相を、心温まる色彩で柔和に表現しました。1976年(昭和51)には生涯にわたるさまざまな功績が評価され、文化勲章を受章。名実ともに近代を代表する日本画家となりました。本展では、笠岡市立竹喬美術館が所蔵する名品の数々により、竹喬が生涯を通して追い求めた自然表現の精華をご紹介します。



上段左から《海》(部分)1971年(昭和46)／《樹間の青》1974年(昭和49)、中段左から《夏草》(部分)1948年(昭和23)頃／《暮るる冬の日》1910年(明治43)／《波濤》(部分)1927年(昭和2)／《清輝(習作)》(部分)1939年(昭和14)／《月》(部分)1944年(昭和19)／《夕映》(部分)1960年(昭和35)、下段左から重要文化財《波切村》(右隻・部分)1918年(大正7)(展示期間:9月5日-9月23日)／《鳥二作(冬の丘)》1916年(大正5)／《鳥二作(早春)》1916年(大正5)／《五月雨をあつめて早し最上川》(習作) (部分)1976年(昭和51)／《青海》(部分)1927年(昭和2) ※全て小野竹喬、笠岡市立竹喬美術館所蔵

EVENT

講演会

**竹喬が目指した芸術**  
—その言説と作品をめぐって—

日時◎2026年9月5日①14:00～  
講師◎上 蘭 四郎氏(笠岡市立竹喬美術館 元館長)  
場所◎多目的スタジオ  
定員◎70名(先着順)

美術講座

**『おくのほそ道』と  
小野竹喬**

日時◎2026年9月20日①14:00～  
講師◎当館学芸員  
場所◎多目的スタジオ  
定員◎70名(先着順)

当館学芸員

日時◎2026年9月22日(火・祝) 14:00～

中原 千穂氏(笠岡市立竹喬美術館 学芸員)

日時◎2026年10月12日(月・祝) 14:00～

ギャラリートーク

申込不要 入場無料

申込不要 要観覧券

申込不要 要観覧券

期間限定

**juju 130 CAFE**  
コラボスイーツ♪

出品作品《花見団子》に  
なぞらえたメニューをご用意しています。  
(《花見団子》(部分) 1948年)

| [常設展のご案内] 2026年9月30日-2027年1月17日 |                          |
|---------------------------------|--------------------------|
| 展示室1                            | モリス時代のグラフィックデザイン         |
| 展示室2                            | 栗原忠二とその時代                |
| 展示室3                            | 没後20年 安藤重春 ～作品修復からみえたこと～ |
| 展示室4-1                          | 楽しい図譜の世界                 |
| 展示室4-2                          | ドレッサーとアーツ・アンド・クラフツ運動     |

バス

JR郡山駅5番のりば  
「美術館」経由「東部ニュータウン」行き、  
「斎藤経由三春」行き「郡山市美術館」下車すぐ  
乗用車◎磐越道「郡山東IC」より約20分【駐車場130台】

**郡山市立美術館**  
Koriyama City Museum of Art

〒963-0666 福島県郡山市安原町字大谷地130-2  
Tel.024-956-2200 Fax.024-956-2350  
<https://www.city.koriyama.lg.jp/site/artmuseum/>

VEGETABLE OIL INK

紙へリサイクル可

Information

**「懐かしい風景の記憶 一太田隆司ペーパーアートの世界 in 郡山—」**  
2026年10月12日(月・祝)まで 郡山市歴史情報博物館／福島県郡山市麓山1丁目5-30 ☎024-923-8921

Design : Era Creative Design inc.